



長特研だより

127号

発行 長崎県特別支援教育研究会
事務局 長崎県立鶴南特別支援学校
編集局 長崎県立鶴南特別支援学校
発行日 令和6年6月24日

会長あいさつ

長崎県特別支援教育研究会会長
長崎県立鶴南特別支援学校長
分藤 賢之

教育職員免許法の改正により、教員免許更新制が発展的に解消され、今後は、教師がより一層、教職生涯を通じて学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たしていくことが求められています。そのような中、「中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会」において、『「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（審議のまとめ）』（令和6年5月13日）が取りまとめられました。

審議のまとめには、「我が国の学校教育は、国際的にも高く評価されている。その背景には、多くの教師が、日々子供たちのために絶えず自らの力を高めようと励んでいることがあげられる。例えば、各学校において行われる校内研修や授業研究など、同僚との学び合いも含め、現場の実践を通じた、より良い授業に向けた教師の学びが進められている。このような取組は非常に重要である」とあります。

本来、教育に関する高度専門職である教師には、様々な研修機会の提供など、教職生涯を通じて探究心をもって主体的に学び続ける環境が整備されている必要があります。特に、特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒、小・中・高等学校の通常の学級に在籍しながら通級による指導を受けている児童生徒など、特別の教育支援を必要とする児童生徒数が急増している状況を踏まえれば、全ての教師に求められる基本的な資質能力として特別支援教育が重要な柱となって、その研修機会の確保が益々求められています。

当研究会では、他にはない学校種別を超えた会員組織という強みを生かし、連続性のある多様な学びの場における特別支援教育の現状と課題を共有して教師相互に専門性の層を着実に厚くしていく仕組みが構築しやすい研修環境と言えます。今後は、例えば、夏の研究大会のすべての分科会で、理論と実践を往還する「Lesson Study」の考え方を取り入れ、分科会運営の質的転換に挑んでみてはどうでしょうか。具体的には、分科会の発表者は、新しい時代に求められている特別支援教育に関する教育課題に対し、実践の過程で、どのような問いを立て、どのような意図で、どのように研究や授業を組み立てたのか、どのようなデータをなぜ集めたのか、どのように分析したのかを説明したうえで、発表者自身の意思決定のプロセスを振り返りながら、参会者と一緒に新たな視点や改善のヒントを探っていくような進め方はどうでしょうか。「Lesson Study」を通じたカリキュラム開発の進め方や方法論なども参考にすることができそうです。「Lesson Study」を核とし、多様な学びの場の実践を「つなぐ」視点で意見交換し合うことができれば、校種や多様な学びの場を超え、真に教育課程の連続性を語り合う場となり、双方に意義のある魅力的な大会に発展していくのではないのでしょうか。

こういうことを考えた背景には、当研究会への教師の向き合い方が、教師個々の自主性に委ねられていることや、夏休み充電宣言等の働き方改革が推進されていることがあります。教師個々の参加の自主性を高めていくためには、当研究会の取組もアクティブな改革に迫られている時期にあると言えます。

〈参考〉長特研会員数 R5：計735名(R5.6/13現在)、R6：計698名(R6.6/6現在)

事務局からのお知らせ

<長特研のホームページについて>

事務局2年目となりました、鶴南特別支援学校です。今年度も会員の皆様に情報の伝達がスムーズに行くように、専用ホームページの活用を推進して参ります。昨年度に引き続き、加入案内、研究大会、九特連・全特連関係の案内、そして長特研だより等の情報発信を行って参りますので、御活用のほどよろしくお願ひします。

令和6年度役員紹介

役職名	所属・職	氏名	所属・職	氏名
会長	鶴南特別支援学校長	分藤 賢之		
副会長	佐世保特別支援学校長	川波 寿雄	長崎市立形上小学校長(県小学校部会長)	松尾 真由美
	長崎市立三和中学校長(県中学校部会長)	赤塚 竜造		
理事	佐世保市立潮見小学校長(次年度発表地区)	惣田 正宏	佐世保市立大野中学校長(次年度発表地区)	諸熊 修一
	佐世保特別支援学校教頭	前田 憲吾	時和特別支援学校教頭	宮尾 尚樹
	佐世保特別支援学校北松分校教頭	坂本 務	鶴南特別支援学校五島分校教頭	福川 隆司
	島原特別支援学校教頭	木下 裕一郎	川棚特別支援学校教頭	福田 賢吾
	虹の原特別支援学校副校長	中溝 浩二	希望が丘高等特別支援学校教頭	野口 誠
	虹の原特別支援学校壱岐分校教頭	佐々木 光洋	長崎大学教育学部附属特別支援学校教頭	伊藤 公裕
幹事	佐世保特別支援学校教諭	森川 匡理● ₁	時和特別支援学校教諭	松尾 圭一郎
	佐世保特別支援学校北松分校教諭	江口 絢女	鶴南特別支援学校五島分校教諭	山口 奈菜美
	島原特別支援学校教諭	井上 香菜美	川棚特別支援学校教諭	竹添 公太● ₂
	虹の原特別支援学校教諭	加耒 貴彦	希望が丘高等特別支援学校教諭	加耒 梨恵
	虹の原特別支援学校壱岐分校教諭	伊東 陽一	長崎大学教育学部附属特別支援学校主幹教諭	國知出 幸美
事務局長	鶴南特別支援学校副校長	酒井 美和		
事務局員	鶴南特別支援学校主幹教諭	岩永 広喜	鶴南特別支援学校主幹教諭	吉田 治子
	鶴南特別支援学校主幹教諭	得永 剛		

※ ●は会計監査を兼任する。(●₁・・・次回事務局、●₂・・・次々回事務局)

令和6年度の主な事業

長特研では、7月の研究大会、10月の秋季研修会ともに集合型で計画しております。また、8月の九特連佐賀大会はハイブリット開催、11月の全特連福井大会は集合型となっています。

令和6年度 第35回 長崎県特別支援教育研究会 総会及び研究大会	期日:令和6年7月30日(火) 場所:東彼杵総合会館 演題:「学習指導要領に基づく資質・能力を育む教育活動の在り方」 講師:国立特別支援教育研究所研修事業部総括研究員 武富 博文 先生 概要:集合型研修 ※詳細はHP掲載
第58回 九州地区特別支援教育連盟 研究大会「佐賀大会」 ※九情研と合同開催	期日:令和6年8月2日(金) 概要:集合型とオンラインのハイブリット型 ※詳細はHP掲載
令和6年度 長崎県特別支援教育研究会 秋季研修会	期日:令和6年10月22日(火) 場所:たらみ図書館 海のホール 講師:長崎大学 生命医科学域(保健学系) 徳永 瑛子 助教 ※詳細は後日HP掲載
第62回 全日本特別支援教育研究連 盟全国大会「福井大会」	期日:令和6年11月21日(木)・22日(金) 概要:集合型研修 ※詳細はHP掲載